

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年5月10日
【四半期会計期間】	第83期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	日本山村硝子株式会社
【英訳名】	Nihon Yamamura Glass Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 山村 幸治
【本店の所在の場所】	兵庫県尼崎市西向島町15番1
【電話番号】	(06)4300-6000(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部長 荒木 陽一
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿6丁目14番1号 新宿グリーンタワービル20階 (東京本社)
【電話番号】	(03)3349-7200(代表)
【事務連絡者氏名】	広報部長 堤 勝則
【縦覧に供する場所】	日本山村硝子株式会社 東京本社 (東京都新宿区西新宿6丁目14番1号 新宿グリーンタワービル20階) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

## 1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年11月11日に提出いたしました第83期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

## 2【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

##### 1 主要な経営指標等の推移

#### 第2 事業の状況

##### 3 財務状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

##### (2) キャッシュ・フローの状況

#### 第4 経理の状況

##### 1 四半期連結財務諸表

##### (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は下線\_\_\_\_\_を付して表示しております。

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第82期 第2四半期 連結累計期間	第83期 第2四半期 連結累計期間	第82期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高 (百万円)	38,390	37,362	72,600
経常損益 (百万円)	2,184	1,818	3,063
四半期(当期)純損益 (百万円)	1,685	1,099	1,887
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	909	1,049	750
純資産額 (百万円)	51,373	51,573	50,894
総資産額 (百万円)	96,674	94,474	94,722
1株当たり四半期(当期)純損 益金額 (円)	16.04	10.47	17.97
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	53.10	54.54	53.68
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	563	<u>1,908</u>	4,696
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	2,448	<u>2,554</u>	3,372
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	990	1,094	1,864
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (百万円)	9,770	10,359	12,106

回次	第82期 第2四半期 連結会計期間	第83期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年9月30日	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日
1株当たり四半期純損益金額 (円)	10.05	2.93

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第82期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

(訂正後)

回次	第82期 第2四半期 連結累計期間	第83期 第2四半期 連結累計期間	第82期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高 (百万円)	38,390	37,362	72,600
経常損益 (百万円)	2,184	1,818	3,063
四半期(当期)純損益 (百万円)	1,685	1,099	1,887
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	909	1,049	750
純資産額 (百万円)	51,373	51,573	50,894
総資産額 (百万円)	96,674	94,474	94,722
1株当たり四半期(当期)純損益金額 (円)	16.04	10.47	17.97
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	53.10	54.54	53.68
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	563	<u>1,121</u>	4,696
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	2,448	<u>1,767</u>	3,372
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	990	1,094	1,864
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (百万円)	9,770	10,359	12,106

回次	第82期 第2四半期 連結会計期間	第83期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年9月30日	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日
1株当たり四半期純損益金額 (円)	10.05	2.93

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第82期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

## 第2【事業の状況】

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (2) キャッシュ・フローの状況

##### (訂正前)

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末に比べ1,746百万円減少し、10,359百万円となりました。

各活動における資金増減の内容は、以下のとおりです。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間においては、売上債権の増加（2,907百万円）があったものの、税金等調整前四半期純利益（1,594百万円）と減価償却費（2,289百万円）等により、1,908百万円の資金増加（前年同期は563百万円の資金増加）となりました。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間においては、有形固定資産の取得による支出（2,475百万円）等により、2,554百万円の資金流出（前年同期は2,448百万円の資金流出）となりました。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間においては、長期借入金の返済による支出（純額で700百万円）等により、1,094百万円の資金流出（前年同期は990百万円の資金流出）となりました。

##### (訂正後)

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末に比べ1,746百万円減少し、10,359百万円となりました。

各活動における資金増減の内容は、以下のとおりです。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間においては、売上債権の増加（2,907百万円）があったものの、税金等調整前四半期純利益（1,594百万円）と減価償却費（2,289百万円）等により、1,121百万円の資金増加（前年同期は563百万円の資金増加）となりました。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間においては、有形固定資産の取得による支出（1,688百万円）等により、1,767百万円の資金流出（前年同期は2,448百万円の資金流出）となりました。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間においては、長期借入金の返済による支出（純額で700百万円）等により、1,094百万円の資金流出（前年同期は990百万円の資金流出）となりました。

## 第4【経理の状況】

### 1【四半期連結財務諸表】

#### (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,541	1,594
減価償却費	2,292	2,289
売上債権の増減額(は増加)	3,110	2,907
仕入債務の増減額(は減少)	185	665
その他	17	76
小計	1,890	1,718
利息及び配当金の受取額	56	63
利息の支払額	188	174
法人税等の支払額	1,283	224
法人税等の還付額	88	525
営業活動によるキャッシュ・フロー	563	1,908
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	1,394	2,475
その他	1,053	78
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,448	2,554
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	17	12
長期借入れによる収入	200	900
長期借入金の返済による支出	700	1,600
配当金の支払額	420	367
その他	87	38
財務活動によるキャッシュ・フロー	990	1,094
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	6
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,880	1,746
現金及び現金同等物の期首残高	12,651	12,106
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,770	110,359

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,541	1,594
減価償却費	2,292	2,289
売上債権の増減額(は増加)	3,110	2,907
仕入債務の増減額(は減少)	185	121
その他	17	76
小計	1,890	931
利息及び配当金の受取額	56	63
利息の支払額	188	174
法人税等の支払額	1,283	224
法人税等の還付額	88	525
営業活動によるキャッシュ・フロー	563	1,121
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	1,394	1,688
その他	1,053	78
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,448	1,767
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	17	12
長期借入れによる収入	200	900
長期借入金の返済による支出	700	1,600
配当金の支払額	420	367
その他	87	38
財務活動によるキャッシュ・フロー	990	1,094
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	6
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,880	1,746
現金及び現金同等物の期首残高	12,651	12,106
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,770	110,359